

教科名	理科	科目	高2生物基礎(FGI)	単位	2単位
-----	----	----	-------------	----	-----

1、教科書および副教材・参考書

教科書：生物（数研出版）

副教材：リードα生物（数研出版）

2、授業の目標および内容

- ・さまざまな事例を通して、自然界と生物、人間に対して関心を持ち、生命を探求しそれに対する理解を深めるとともに、生命の本質を理解するようにしたい。
- ・基本的内容を理解し、現学年から大学入試へ対応できる基礎学力の養成を目指す。
- ・授業の進め方としては、教科書の進度に合わせ進めていく。

3、試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月
学力試験	なし		第1回 9月		第2回 2月

・内容・難易度について

- ① 定期試験：履修した内容の理解度を確認することが目的で、範囲を指定して出題する。
教科書のほか、リードα生物、配布プリントなどをよく勉強しておくこと。
- ② 学力試験：履修したすべての範囲から出題される。発展問題の割合が増える。

4、課題・補習について

補習は基本的にはなし。

5、評価の視点

一次試験と二次試験の平均点に平常点を加味する。

平常点は、提出物、授業の取り組みなど評価し、最後に点数化する。

6、授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<p>オリエンテーション</p> <p>生物基礎</p> <p>第4章 植生の多様性と分布</p> <p>第5章 生態系とその保全</p> <p>生物</p> <p>第1編 生命現象と物質</p> <p>1章 細胞と分子</p>	<p>学習の目標や内容、学習方法、評価方法を理解する。</p> <p>1.植生とその成り立ち</p> <p>2.植生の遷移</p> <p>3.気孔とバイオーム</p> <p>1.生態系とその成り立ち</p> <p>2.物質循環とエネルギーの流れ</p> <p>3.生態系のバランスと保全</p> <p>1.生体を構成する物質</p> <p>2.タンパク質の構造と性質</p> <p>3.酵素のはたらき</p> <p>4.細胞の構造</p> <p>5.細胞の活動とタンパク質</p> <p>6.情報伝達・認識とタンパク質</p>	<p>視聴覚教材の活用</p> <p>【実】タンパク質変性</p> <p>【実】酵素</p> <p>【実】細胞の観察</p>
2	<p>第2章 代謝</p>	<p>1.代謝とエネルギー</p> <p>2.呼吸と発酵</p> <p>3.光合成</p> <p>4.窒素同化</p>	<p>【実】発酵実験</p> <p>【実】脱水素酵素実験</p> <p>【実】光合成色素抽出実験</p>
3	<p>第3章 遺伝情報の発現</p>	<p>1.DNAの構造と複製</p> <p>2.遺伝情報の発現</p> <p>3.遺伝子の発現調節</p> <p>4.バイオテクノロジー</p>	<p>【実】DNA抽出</p>

